

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 24.6.15 第 180 回国会第 6 号

6 月 15 日（金）第 6 回の委員会が開かれました。

1 著作権法の一部を改正する法律案（内閣提出第 64 号）

- ・平野文部科学大臣、奥村文部科学副大臣、高井文部科学副大臣、神本文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・池坊保子君外 4 名（自民、公明）提出の修正案について、提出者池坊保子君（公明）から趣旨説明を聴取しました。
- ・原案及び修正案に対し、宮本岳志君（共産）が討論を行いました。
- ・池坊保子君外 4 名（自民、公明）提出の修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。（賛成 民主、自民、公明 反対 共産、きづな）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、全会一致をもって可決され（賛成 民主、自民、公明、共産、きづな）本案は修正議決すべきものと決しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

下村博文君（自民）

- ・著作権法改正案において、著作権者の利益を不当に害しない範囲で、著作権者の許諾無く著作物を利用できる場合を、ある程度包括的に定めた規定を置くこととしているが、該当するかどうかの判断基準や具体例を示すべきではないか、また、著作物を私的利用する場合の著作物の複製の在り方について、今後の著作権法全体の中における検討方針を大臣に伺いたい。
- ・違法に配信されているものであることを知りながら、有償・無償の音楽・映像を私的使用目的で複製する行為（私的違法ダウンロード）を放置しておくことは、インターネット社会の健全な発展を阻害することにならないか、大臣の見解を伺いたい。また、可罰性が薄い容疑で捜査する場合、例えば個人のパソコンを押収したりすることは令状主義の原則から慎重に行われるものであり、公権力の過剰な介入はありえないのではないかと、警察庁の見解を伺いたい。
- ・インターネット上に流通しているファイルが違法なものか適法なものかの判断ができないことから、私的違法ダウンロードを罰則化することでインターネットの利用が萎縮するのではないかと懸念があるが、Ｌマークの一層の普及など違法なファイルであることを判断できるような措置を早く行うべきではないかと、文部科学省の見解を伺いたい。併せて、海外における私的違法ダウンロードの罰則化や捜査対象となった事例を文部科学省に伺いたい。

- ・平成 21 年の著作権法改正時の附帯決議において、政府は、学校等における著作権教育の充実や国民に対する普及啓発活動に努めることとされていたが、その取組状況と現状認識について伺いたい。
- ・障害者に、点字図書、録音図書などを配信するサービスを行なっている「サピエ図書館」に対する支援の充実について、厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・高校教育における、インターネットテレビ会議システム等を利用しての外国との交流など、ICTを活用したグローバル人材の育成を推進するために、カリキュラム等の研究開発及び環境整備を進めていくことが必要ではないか。

池坊保子君（公明）

- ・我が国において、一般的な米国型の権利制限規定（いわゆるフェアユース規定）を導入する必要性について大臣の見解を伺いたい。
- ・法改正により、技術的保護手段の回避が行いにくくなることで、従来から例外的に複製が認められていた学校現場や障害者福祉の現場において複製が困難になるのではとの危惧があるが、これについて文部科学省の見解を伺いたい。
- ・ＴＰＰ（環太平洋経済連携協定）に関し文化的な面からも国内の議論が充分に行われるよう、情報を適切に公表する必要があると思うが、ＴＰＰにおける著作権部分の文部科学省が把握している内容及び対応方針並びにＴＰＰ参加の場合の、文化・芸術に与える影響を伺いたい。

石井登志郎君（民主）

宮本岳志君（共産）

- ・私的録音録画補償金制度については、権利者側と一部のメーカーとの間に意見の相違があり、一部の機器についてメーカーが権利者側に補償金を支払わない旨を主張しているが、メーカーに対し支払いを促す必要性について大臣の見解を伺いたい。
- ・違法ダウンロードを罰則化することについては、日弁連等からも反対意見があるところだが、平成 21 年の法改正時において罰則を付さない事とした理由は何か、また、文化審議会著作権分科会において罰則化することについて合意があるのか伺いたい。
- ・現状では、コンテンツについて著作権者の許諾の有無を確認することや有償・無償の別を判断することは容易でないと考えるが、動画投稿サイトや放送局のサイトの実態を文部科学省に伺いたい。